



# まんだらげ

11月1日、2日に行われた医大の大学祭「2008 紀葉祭」は、学生たちの熱気であふれました。



## 患者さまの権利

- 1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利**  
個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。
- 2 医療について十分な説明を受ける権利**  
ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります
- 3 自分が受ける医療を自ら決定する権利**  
納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。
- 4 医療について情報提供を受ける権利**  
自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーが守られる権利**  
医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

## CONTENTS

- 診療紹介 / 【脳神経外科】  
【神経内科】
- 病棟だより / 7階西病棟
- くるーずあっぷ / 栄養サポートチーム
- 栄養ワンポイントアドバイス / 揚げ物のエネルギーを減らすコツ
- お薬の豆知識 / タミフル

### 広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

## 理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

## 基本方針

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。



## 【脳神経外科】

# 最新の診断・治療技術を導入し安全性の向上を図りながら高難易度手術を手掛ける

私たち、脳神経外科は主として脳腫瘍、脳血管障害、脊椎・脊髄疾患、三叉神経痛や顔面痙攣、さらにパーキンソン病を代表とする不随意運動などの診療を行っています。これらの疾患に対して、大学病院として常に最新の診断・治療技術を導入して手術に臨んでおります。具体的には、脳腫瘍の治療では、脳深部や頭蓋底の病変に対する難易度の高い手術でも、ニューロナビゲーションや神経内視鏡を応用することにより確実性、安全性の向上を図っています。脳卒中の治療では、血管内治療を積極的に導入し、手術では到達困難な脳動脈瘤などの治療をはじめ

けいどうみやくきょうさくしやう

として、頸動脈狭窄症に対するステント留置も数多く行っております。また、脊椎・脊髄疾患に対しては、顕微鏡を用いた繊細な手技により手術を行っています。さらに、不随意運動に対する定位脳手術では、精密な電気生理学的モニタリングを行い、治療の精度を高めています。



## 【神経内科】

# 体のなかでも最も重要な働きをする神経系 他診療科や検査部と連携し、神経内科全般の高度な診断・治療を行う

わたしたちが手や足を動かす、考える、話をする、色々なものを見て楽しんだりすることなど、体の中の大事な働きはすべて神経系を介して行われています。開設9年目の比較的新しい科目ですが、感染性疾患(脳炎・髄膜炎など)や脱髄性疾患(多発性硬化症など)、神経筋接合部疾患(重症筋無力症)、神経変性疾患(パーキンソン病、パーキンソン症候群、筋萎縮性側索硬化症、その他)、末梢神経疾患(ギラン・バレー症候群など)、筋疾患(筋炎・筋ジストロフィーなど)、機能性疾患(てんかん・頭痛)など広範囲にわたる神経内科領域の疾患全般について診断・治療を行っています。

患者さんの病歴をよく聞いていていねいに診察し最適な治療方針を決定するプロセスを重視しており、脳神経外科、整形外科、内科、救急部、リハビリテーション科とも連携をとりながら、高度な先進的治療を行っています。慢性疾患に対しては、地域の保健所や福祉施設との連携で、患者さんと介護者の援助に尽力しています。



## 病棟だより

# 緊迫感が漂う中でも細やかな心づかいを

7階西病棟は循環器内科41床とCCU(救命救急センター)5床等で全50床を有し、スタッフ38人が24時間体制で心筋梗塞など緊急事態の最適な対応を行っています。家族への心くばりも含め、回復後も各科と連携しながらリハビリに向けての細やかな継続看護を続けています。モットーはイ

ンフォームド・コンセント。どんな時でも常に患者さんの立場に立って、最善を尽くすことを目標に掲げています。



# ぐるーずあっぷ

## 栄養療法で病気を治すお手伝い ：栄養サポートチーム(NST)

病院にこられる患者さんは何らかの病気をもっていて、そのため健康な状態よりもエネルギーが必要です。病気を治すにはもっとエネルギーが必要です。病気の状態によっては十分な栄養が取れない場合もあります。つまり病気の人は栄養状態が悪いことが多く、そのため病気の治りにも影響するのです。このような状況を改善するため、当院でも平成17年12月より「栄養をサポートする(手助けする)チーム」としてNSTが設立され、活動中です。NSTは医師(内科系、外科系)、管理栄養士、看護師、薬剤師、

検査技師、言語聴覚士など多くの職種で構成されており、それぞれ

の専門知識を生かし主治医の先生と協力して患者さんの栄養状態改善に努めています。現在当院では入院患者さんは栄養状態に問題があり、栄養サポートが必要と判断されればNSTに連絡され、NSTによる回診や検討が行われるようになってきました。また、月1回の栄養に関する勉強会も行っています。



院内勉強会の様子

## お役立ちメモ

### 介護保険のしくみ ～地域連携室から～

介護保険を利用するためには、市町村に介護保険料を納め介護保険を利用するための申請を行い、要介護認定を受けることが必要です。

#### 1、利用できる人

- ① 65歳以上の方(第1号被保険者)で要支援者、要介護者
- ② 40歳以上65歳未満で医療保険に加入している方(第2号被保険者)で脳血管障害、パーキンソン関連疾患、初老期の認知症等16の特定疾病が原因で介護が必要になった方

#### 2、手続きについて

- ① **申請** 介護保険担当窓口で「要介護認定」の申請を行います  
↓
- ② **訪問調査** ご本人や家族から聞き取り調査を行います  
また、市町村の依頼を受けて主治医による意見書が作成されます  
↓
- ③ **審査・判定** 訪問調査結果や主治医意見書をもとに介護認定審査会が審査・判定します  
↓
- ④ **認定** 市町村が要介護度の認定を行う

要支援1.2の方は「予防給付」を受けられます。地域包括支援センターでケアプランの作成をし、介護予防サービスを利用します。

要介護1～5の方は「介護給付」を受けられます。居宅介護支援事業所のケアマネージャーがケアプランを作成し、介護サービスを利用します。

※認定を受けるまで1ヶ月程度かかりますので、早い目の申請をお勧めします。

#### 3、利用できるサービス <要支援1.2の方は介護予防サービス>

(利用者は1割負担。ただし、認定結果により利用できるサービス、支給限度額が決まっています。)

- 車いす、介護用ベッド等の福祉用具のレンタル
- 特殊尿器、入浴補助用具等の購入費の支給
- 住宅改修費の支給
- 訪問介護(ホームヘルプサービス)
- 訪問看護
- 訪問入浴
- 訪問リハビリテーション
- 通所介護(デイサービス)
- 通所リハビリテーション(デイケア)
- 短期入所生活介護(ショートステイ)
- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)入所、グループホーム入所、小規模多機能型居宅介護利用等々

#### 4、相談窓口

市町村介護保険担当課、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所



## 栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

### 揚げ物のエネルギーを減らすコツ

忘年会、新年会の季節となり、この時期体重が気になる方が多いのではないのでしょうか？

そこで、今回は『揚げ物』のエネルギーを減らすコツを紹介します。

揚げ物では、食材が吸う油の量(吸油量)によりエネルギーが増減し、衣が厚い料理ほどエネルギーが増えます。例えば、100gの白身魚タラを調理した場合(79kcal)の目安は、別表のとおりです。

(表)

料理	吸油量(g)	エネルギー(kcal)
素揚げ	5	124
唐揚げ	7	142
フライ	15	214
天ぷら	20	259



その他には、フライや天ぷらでも衣を薄くする、食材を大きいまま揚げて油に触れる面積を小さくするなど吸油量に注目し、エネルギーを減らす工夫をされてみてはいかがでしょうか。

## お薬の豆知識



### シリーズ⑦「タミフル」

～薬剤部から～

タミフルはインフルエンザの治療薬です。A型又はB型インフルエンザウイルス感染症に効果がありますが、C型や細菌性の風邪には効果がありません。そのため病院でインフルエンザの型を検査後、医師から必要に応じて処方されます。医大病院では副作用などの注意事項をまとめた説明書を添付していますので、見落とさないようにしてください。また、タミフルは症状が出て48時間以内に服用を開始することも重要ですので、インフルエンザ様症状が出たら早めに病院へ。なお、昨年3月20日、厚生労働省より原則的に10代には使用禁止となりました。

## 「わかりやすい眼の病気」 県内各書店で好評発売中！

医大眼科学教室では昨春秋から地元紙に、眼の病気のコラムを掲載してきました。子供の眼の病気から白内障など高齢者に多い病気まで全31種類の病気について専門医がよりわかりやすく解説しています。眼の家庭医学書として和歌山県内主要書店で発売中です。定価500円。



### 【最新の医療カンファランス】

場所：和歌山県立医科大学 図書館棟3階  
(生涯研修・地域医療支援センター研修室)  
日時：第2木曜日(4月と8月と2月を除く)  
午後3時から午後5時

### お知らせ

#### 12月11日(木)

##### 第7回「最先端の眼科手術」

○日帰り白内障手術の進歩&最近増えている加齢性黄斑変性症とは？

講師：医大・眼科学教室 雑賀司珠也

○加齢性黄斑変性症の最新治療

講師：医大・眼科学教室 宮崎賢一

#### ○最新の眼内レンズ

講師：医大・眼科学教室 宮本 武

#### 1月8日(木)

##### 第8回「消化器癌の最新治療」

○脾臓の外科

講師：医大・外科学第2教室 谷 眞至

○身体に負担の少ない内視鏡治療

講師：医大・中央内視鏡部 瀧藤克也

※いずれも定員各100名、参加無料。

問：073-441-0789 和歌山県立医科大学  
生涯研修・地域医療支援センター

## 和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.7〉

2008年12月発行

発行／和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

# TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

### 外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

### 電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変こみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は  
3月です。